

令和元年度
「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」に
おける実証事業

成 果 報 告 書

取組内容の趣旨・目的

女性には多様なライフコースがあり、女性の生き方（ライフサイクル）にはさまざまな可能性がある。

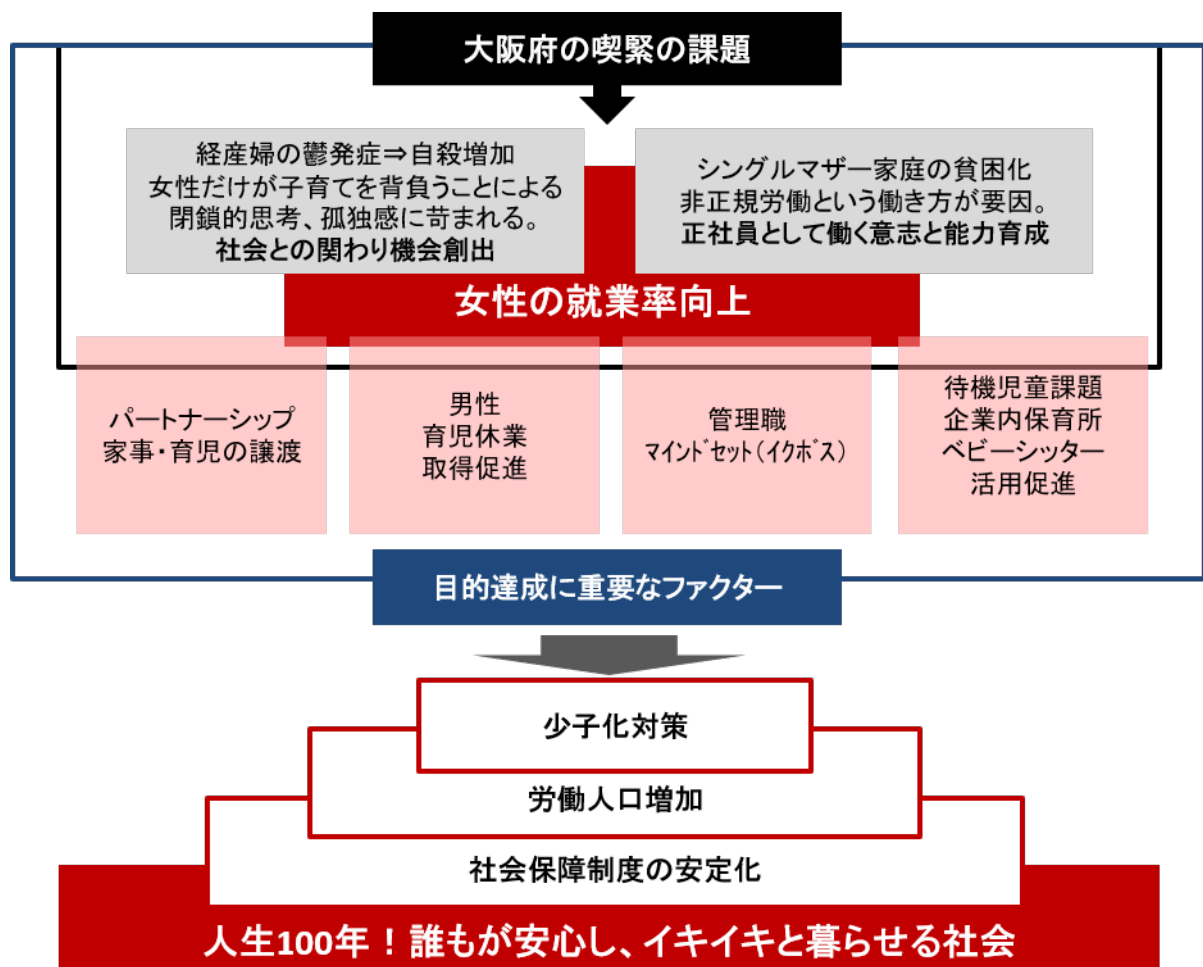
しかしながら、日本と韓国においては、結婚・出産を機に退職、働き盛りの30代～40代前半において、労働の一線から退く「M字カーブ」が長年課題となっていた。しかし近年ではM字カーブはゆるやかに上昇、働く女性が増えつつある。しかし雇用形態でみると非正規で働く人の割合がかなり多く、安定雇用の観点からは課題があると考えられる。

本事業は男女共同参画や女性活躍推進、キャリア教育、雇用・就労、リカレント教育…さまざまな知見を持った有識者との連携が必須であり、事業を効果的に周知・広報するためには、就労をサポートする機関や受け皿となる企業のみならず、地域で活動するさまざまな人が事業に参画したい！と共感を抱くことができるモチベーションとなるもの（動機づけ）が必要。それが社会（地域）課題解決というアプローチ。

アクセプトが事業所を構える大阪府は、女性の就業率が全国ワースト4位（男女共同参画白書平成29年度版 都道府県別 女性の就業率（25～44歳）の推移）ということもあり、女性の就労支援にも非常に力を入れている。また経産婦の自殺増加、シングルマザー家庭の貧困化という喫緊の課題、緊急性の高い大きな課題を抱えている。

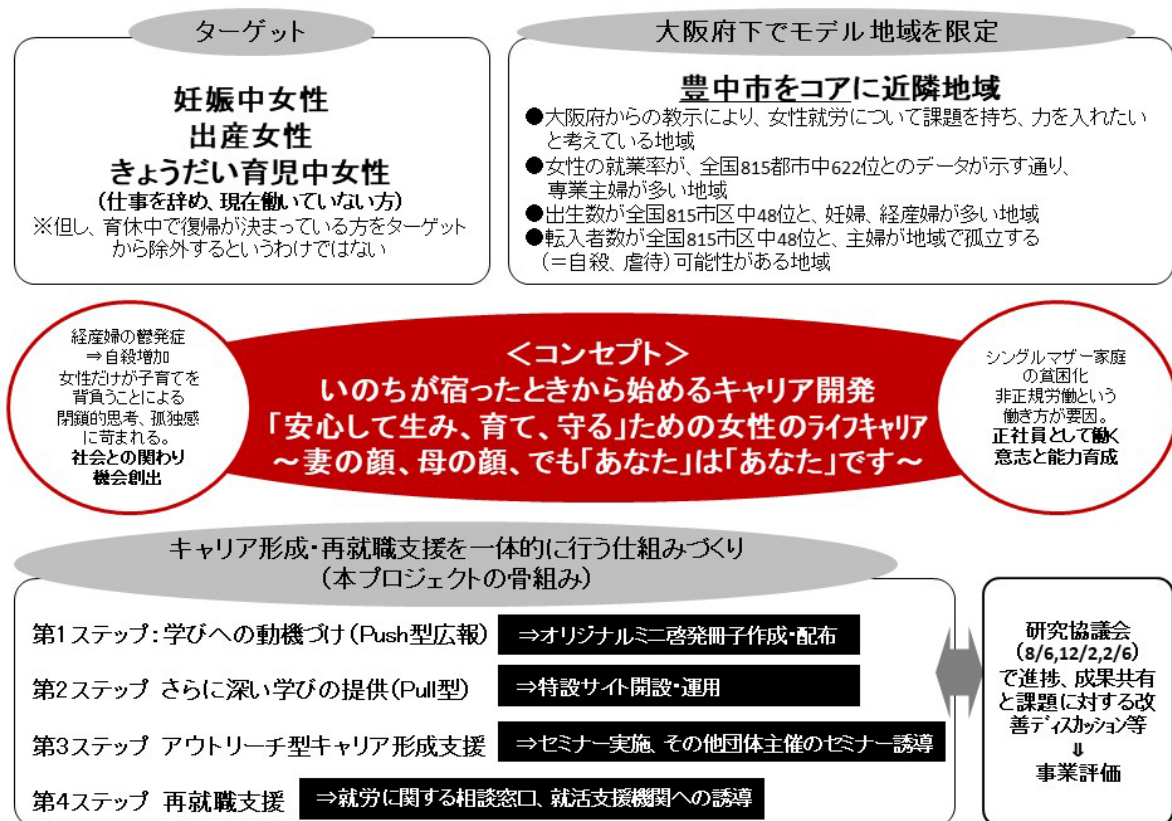
女性に関わる課題を解決したいと考えている地域は大阪府に限らず他府県にも多く存在するはずで、社会（地域）課題解決を根幹に据えることで事業普及化の確度も高まると考える。

この仮説を裏付けるようなパイロットモデルをつくることを目的に本事業に応募した。



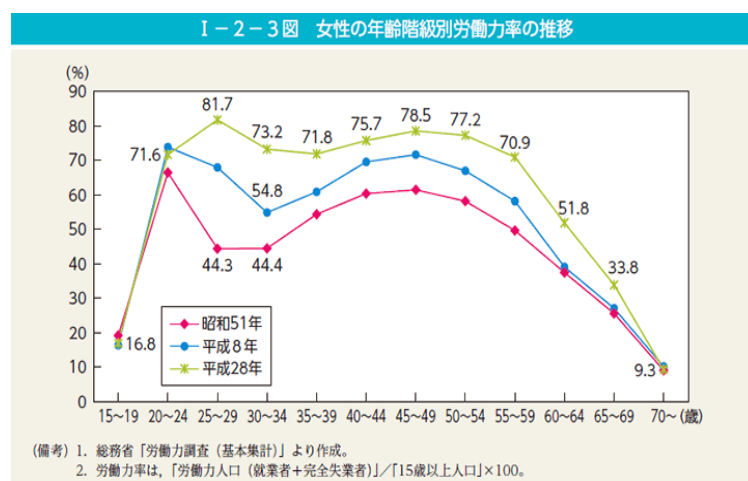
この事業がモデル事業として課題を持つ各地域で普及化すれば、段階的に日本における大きな社会課題が紐解かれるように解決されていき、最終的には人生を100年と捉えた時に誰もが安心して、イキイキと暮らせる社会の実現につながると考えている。

実施概要、実施方法等



「モデルを構築するための実証事業」という事業特性を活かし、社会課題解決につながる仕組みづくりの視点もプラスすることに加え、これまでに前例のない新規性のある事業展開をしたいと考えた。

女性の年齢階級別労働力で長年の課題であったM字カーブの問題はかなり改善されつつあるとはいえ、働き続けるのではなく、出産・子育てをきっかけにいったん離職し、一段落してから再就職活動を始めるという状況は変わっていない。離職した人の再就職支援ニーズに応えようという取り組みは各自治体がすでに取り組んでおり、さまざまなプログラムが提供されている。例えばハローワークが窓口となっている職業訓練制度などもそのひとつ。本人が働く意欲があるうえ、求職活動、就職と出口に近い。求職活動に何か課題があれば、自らが解決に向けて自主的に行動するだろうと思われ、啓発の必要性はあまりないのではないかと考えられた。



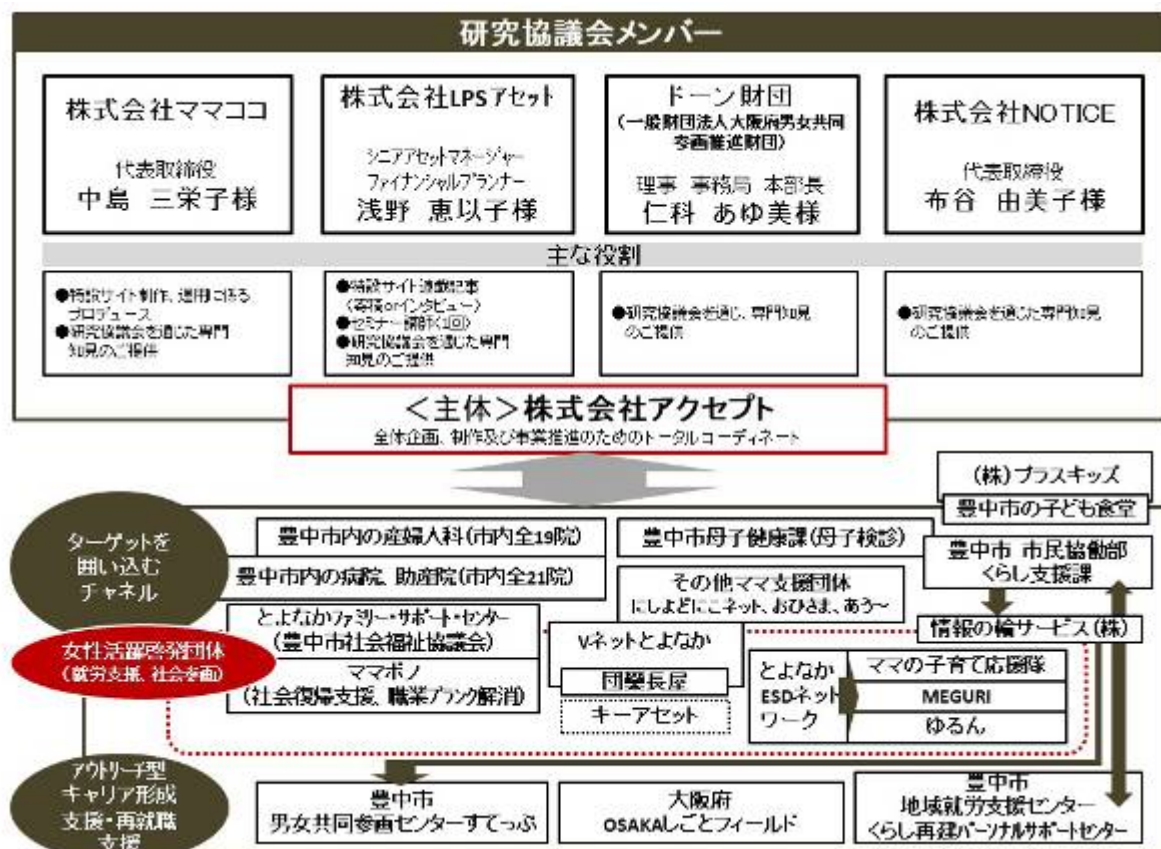
逆に出口から最も遠い女性、**M字の凹み部分にあたる、「出産、子育てが最優先!」と考えていると思われる層にアプローチするとうなるのか?**という疑問がわいた。**これから出産する、あるいは出産したばかりのタイミングにある女性に、それも仕事と子育てを両立できないと考えてあえて離職した女性に就労を見据えたキャリア啓発をすることは女性就労課題**

の当事者層であるにも関わらず、特に手が打たれていない隙間市場で、有効なプログラムを入れることにより、開拓でき、成長する市場となる可能性があると考えた。

この仮説のもと、事業のコア対象を妊産婦女性にターゲティングした。

エリアもモデル地域を限定しての広報アプローチということで「豊中市を中心とした近隣地域（他の市、町でも公共交通機関で豊中市へのアクセスの利便性が良い地域）」とした。コアの自治体を豊中市とした理由としては、自治体の公開情報を根拠とした。

事業は学びへの動機づけから再就職支援まで、アプローチごとに4つのステップに分け、さらに本事業を連携で推進する協働メンバーが集い、課題検証と改善対策を定例的に検討する機会としての全3回の研究協議会を位置付けた。



●実施体制、事業推進の工夫

まずは男女共同参画推進部署へご相談、就労支援の担当部局と母子手帳発行の担当部局をご紹介いただくことができた。

後日各課にアプローチし、地域の就労相談や無料職業紹介などの市内の就労支援機能など出口対策となる情報を編集し、冊子で紹介、母子健診等の産後ママとの接点機会を活かしたミニ啓発冊子の配布協力で連携することができた。

豊中市全域の産婦人科は民間経営であるため、個別に交渉し、事業に賛同いただいた産婦人科にまとめた部数を送り、設置もしくは配布をいただいた。しかし産婦人科の経営方針、外部とのかかわりにおけるスタンス等、院長判断で冊子の配架を見合わせた産婦人科も多くあり、連携できた産婦人科が想定よりも少なかった。そこでターゲットと接点を持つ、地域に根付いた他の団体の発掘を行った。

豊中市社会福祉協議会や豊中市議会議員、豊中市内で女性向けサービスを展開する企業、女性支援を行うNPO 団体などに対して地道にアプローチし、地域の社会課題解決に取り組むさまざまなキーパーソンを中核とし、その先につながる対象にリーチする連携ネットワークを構築することができた。

特設サイトはより多くの女性に周知させたいとの思いから、サイト制作・運用を担う研究協議会メンバー

と調整、共感型広報に有効な口コミ戦略を導入。ブログや SNS で多くのファンを持つ 3 名のママインフルエンサーの協力を得た。ママたちそれぞれのネットコミュニティを起点とし、SNS を駆使した情報の拡散を実施。この手法は特に、後に実施したウェブアンケートにおいて、効果を発揮したと考える。

出口対策としては女性就労支援に力を入れている大阪府と連携、大阪府の指定管理施設である「OSAKA しごとフィールド 働くママ応援コーナー」を通じた冊子の配布、就活や保活に役立つさまざまなセミナーの受け皿としての体制を整えていただくことができた。

●広報アプローチの工夫

この事業のひとつのポイントである「効果的な広報アプローチ」は、**女性たちに向けて、いかに共感できる形でコンセプトを打ち出すか**、であった。企画と広報は違う。誰に向けて、何をしたいのか、ターゲットに寄り添い、共感を得るにはどのような言葉をチョイスし、配するか。企画段階で盛り込んでいた「キャリア開発」、「ライフキャリア」など当たりが固い言葉を排除。社会とのかかわりを断ち、「妻」、「母」という役割を全うしようと奮闘、自身のキャリアを考えることについては二の次にしがち—そんな女性たちを思い描き、女性たちの承認欲求を満たしつつ、女性就労課題をさりげなく投げかける。いろいろ考えた結果できあがったメッセージは

～妻として、ママとして がんばるあなたへ…でも「あなた」自身の未来も見つめてほしい。～

この事業の広報力を高める工夫として、事業のプロジェクト化と、親しみやすい・覚えやすいネーミングが必要ということで、事業協働メンバーとも検討をした結果、「ふえみな～る (Feminar)」と命名。

フランス語で女性を意味する「Femina」とドイツ語の授業法「Seminar」を掛けあわせた造語で、且つ検索エンジンでは現状ヒットしない新しい言葉であった。やわらかい平仮名で表記、未来へのさまざまな生き方をイメージさせるシンボルマーク、サブフレーズと共にユニット化し、視覚的訴求効果を高めた。



●ターゲットに向けた具体表現（ミニ啓発冊子より）



**妻として、ママとして
がんばるあなたへ…**
でも「あなた」自身の未来も見つめてほしい。

おなかにいのちが宿った瞬間、あなたはどんなことを考えましたか？
そして、待ち望んだベビー誕生のその瞬間は？

いろいろ思いを巡らせていたはずなのに、やがて日々の育児に追われ、いつかその思いは
心の奥にしまいこまれてしまうかも。
今はやっぱり、ベビーがスクスク育つよう、ベビー中心！ベビー優先！
家事に、育児に、日々がんばっている、そんなママの負担にならないカタチで、でも今だからこそ
「自分自身」の未来とキャリアを考えられるよう応援がしたい…
そんな思いから、未来を考えるママのためのまなび・共感サイト「ふえみな〜る」を開設しました。



ふえみな〜る
「未来を考えるママ」のためのまなび・共感サイト

医院設置のミニ冊子や、パソコン・スマートフォン・タブレットなどから、ちょっとした隙間の時間を使って、子育て情報、子どもを取り巻く未来の教育や女性を取り巻く社会動向など、いろいろな角度から学べる情報を発信し、ママたちが「未来を考える」ことを応援していきます。

<伝えたい思いは3つ！>

～プロジェクトを進めるうえで私たちが大切にしていること～

妊娠中、出産後の
大変な「今」
だからこそ気分転換に
視線を未来に
向けて。

子どもが成長し、
やがて社会で輝く
存在となるためには、
あなたが社会や地域で
輝く存在であることが
一番大切！

あなたが自分で考え
選択したことなら
自信をもって。
信じる道を応援
します。

<忙しいママも無理なく手軽に！>



ミニ冊子で！



スマホ、タブレット、パソコンで！

<さらに深く学んだり、他者と交流してみたい方は…>

ふえみな〜るサイト
「あてかけ情報」掲載のセミナーがオススメ！

<具体的な就労サポートを受けてみたい方は…>

ミニ啓発冊子P.23～26に
掲載の施設は就職相談等サポートが充実！

1

2

特設WEBサイトのご案内

**ミニ冊子(本誌)で触れた学びを
より深く学ぶ**

これからのキャリアを考えるうえで役立つ情報はもちろん、子育てのお悩み解消や、先輩ママのアドバイス、ベビーとお出かけできるお店や施設情報など家と満載のワクワクサイトです。
いつでもどこでも閲覧可能なスマホ対応の他、Facebook(ふえみな〜るFeminar)、Instagram(Feminar1919)にも対応しています。

トピックス



コラム





ふえみな〜る
「未来を考えるママ」のためのまなび・共感サイト

先輩ママメッセージ



あてかけ情報



<https://www.feminar.jp>

<トピックス>
子育てに関する、今話題の事柄や、時事問題に関することまで子育てに関わるテーマを取り上げ、専門家からのWEB誌上セミナーや、インタビューという形で情報をお届けします。

<コラム>
育児に今すぐ役立つアイデア、ノウハウを学ぶ「ホットコラム」と、少し先の未来を見据えた社会の現状を学ぶのに役立つ「テーマでみる・まなぶ」のふたつの切り口で情報をお届けします。

<先輩ママメッセージ(先輩ママからのメッセージ)>
少し先輩ママにあたる女性たちから、①ママになってよかったこと②しんどいと感じたこと③どう解決してきたか④私のマル秘子育てテクニック⑤(子育てするうえで)一番大切にしていること⑥先輩ママへの応援メッセージをお届けします。

<あてかけ情報>
これからのキャリアを考えたり、就活・保活に役立つセミナー情報を集めた「ママのためのセミナー情報」と、習い事などの教室、子連れで楽しめるイベントやカフェなどの情報を集めた「教室・お店情報」のふたつの切り口で情報をお届けします。



「ふえみな〜る」
のWEBサイトを
ぜひご覧ください

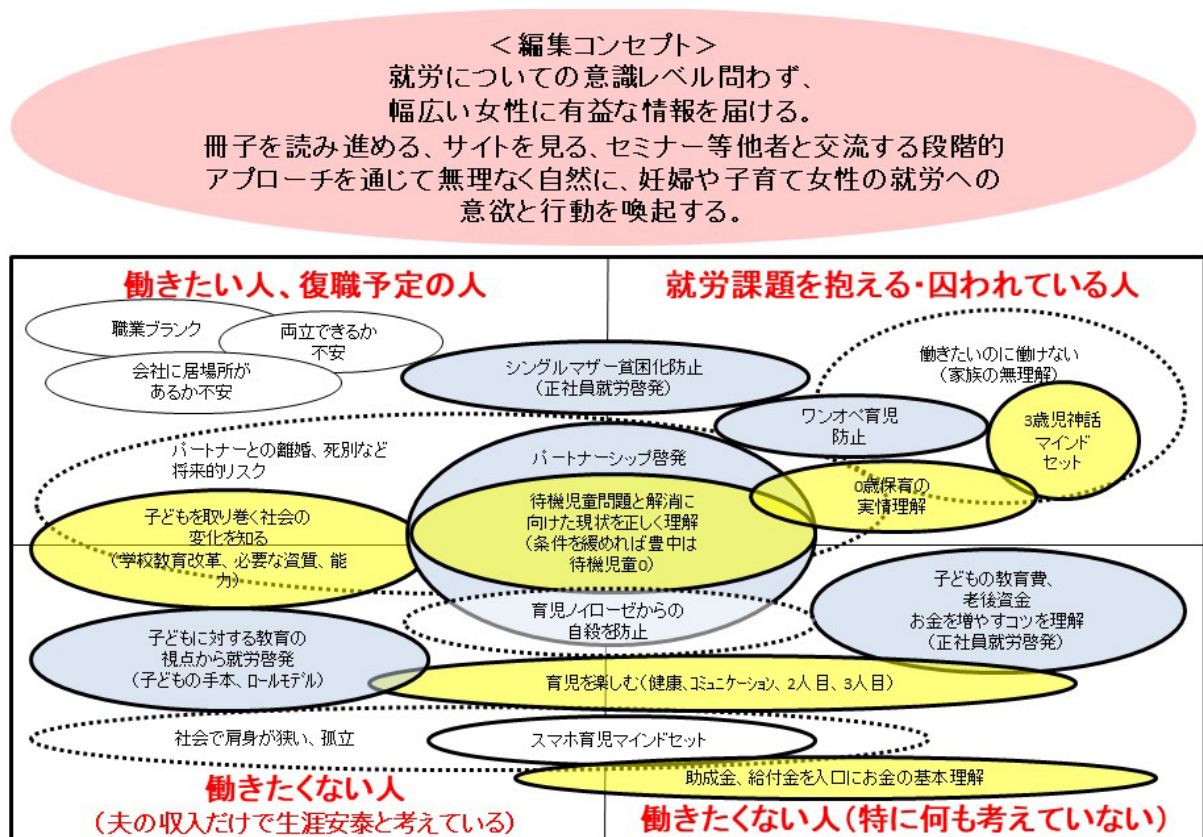
21

22

ターゲットの特性や学びニーズを踏まえ、企画書に示した第1ステップから第4ステップについては文
言中心ではなく、ビジュアルを多用し、視覚に働きかけるアプローチとした。

●媒体（啓発冊子、特設サイト）の基本的な考え方

ミニ啓発冊子や特設サイトの情報を開発するにあたっては、就労を軸とした場合、大きく 4 つにセグメントできると想定、就労についての意識レベルを問わず、幅広い女性のマインドセットにつながる情報を届けることを編集コンセプトとし、それぞれのターゲットの持つ課題（就労の阻害要因）を抽出し、啓発情報のテーマを設定した。



●情報開発、情報編集のポイント

子ども・子育てを入り口としなければ興味・関心を持たない層だということを前提に、情報を編集する。

「子どもに背中を見せられる親への成長」というアプローチで社会とつながり続けることの大切さに自ら気付く。あるいは、家族が生涯安心して暮らせるマネーライフプランニングを専門家から学ぶというアプローチで家計の担い手として自身も安定した職につくことが必要だ、という思考につなげるなど、子ども・子育て色を損なわずにさりげなく本人の社会とつながる、就労意欲を喚起する情報編集を行う。

女性を取り巻く周囲のファクターで身近な存在から社会にまで目を向けられるような情報を編集する。

男性の家事・育児への参画の必要性、進む企業の働き方改革、多様化する柔軟な働き方、待機児童問題解消の一環としての企業内保育所やベビーシッターの活用、なりたい自分・ステップアップしたい自分を実現するために効果的な学びの紹介など、これらの視点を盛り込み、社会的な視点へのシフトチェンジにつながる情報編集を行う。

とりわけ、事業への導入となる啓発冊子の役割は重要。手に取り、ページを繰って順に読み進めていく「冊子」という形態を活かすべきと考えた。そこで「今、一番関心があること・ニーズ」を入り口に、先輩ママの子育てアドバイス、子育てに関連した社会問題トピック…と段階的に視野を広げ、就労の重要性に気づく啓発としての読み物、出口は地元の豊中市と女性就労支援のための各種サポートを行う大阪府の施設情報という具合にストーリー性（起承転結）を持たせた。仕様は持ち歩きを考慮、A5のミニサイズとした。

■ミニ啓発冊子2種の企画、制作—媒体の情報編集のポイント

子育てしながら働くうえで弊害となる要素のマインドセットと、
少し未来を見通せる情報提供＜育児×就労＞

＜目的＞特設サイトへの誘導

＜編集テーマ＞出産後の不安解消や子育てにまつわる思い込み排除
を入口に、無理なく自然に就労の必要性を説く

育児不安解消のための啓発

育児について耳にしたり、気になる話題
「思い込み」の提起、メインテーマ化

思い込みをなくし、
社会と関わる重要性のさりげない啓発

家族がずっと安心して暮らす、子どもを十分に
経済サポートする上で、女性も正社員と
して仕事に就くことが大切という啓発

■さらに深い学びの提供

9/12オープン！



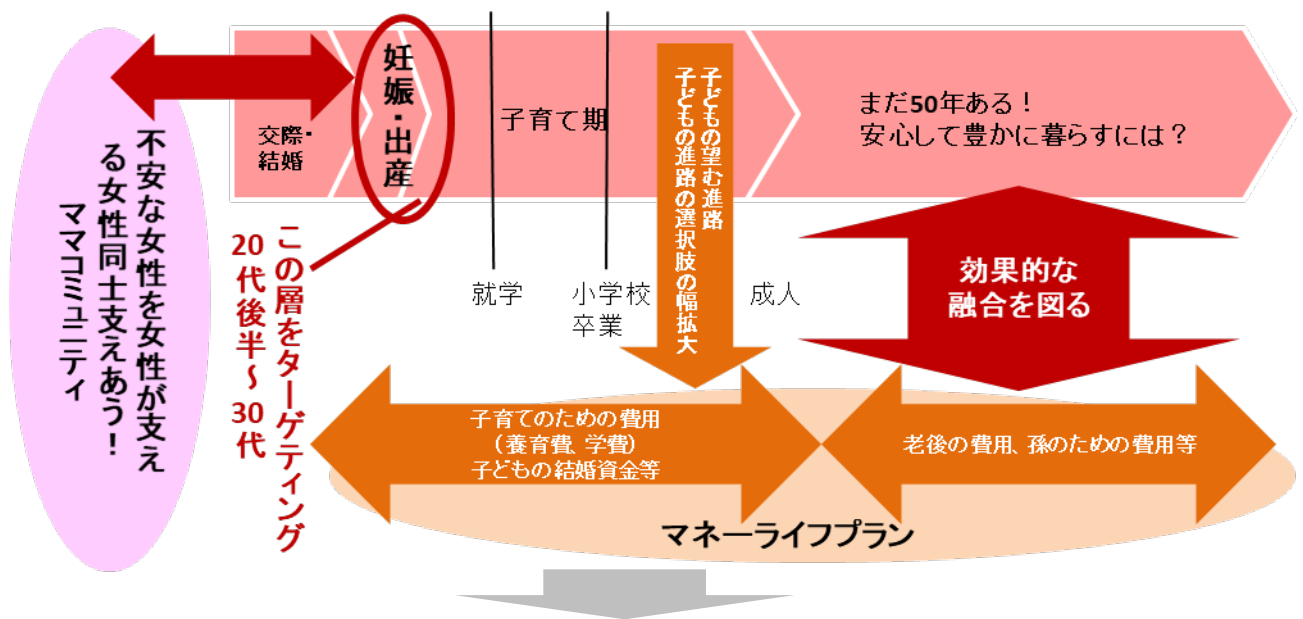
育児の悩みを解消したり、「楽しめる情報に触れる」



少し先のことを考え、就労につなげる啓発 自己研鑽のために「行動する」



●アウトリーチ型キャリア形成支援（当事業主催セミナー）



人生 100 年！誰もが安心し、イキイキと暮らせる社会

セミナーのテーマは「マネーライフプラン」とした。キャリア形成とライフプランニングは関連が深い。十分な教育資金を確保しておくことの必要性訴求、子どもが巣立ってから安心して暮らすために重要となる社会保障制度の基礎理解、働き方で大きく変わる年金受給額など、この先の人生で想定すべきリスクについて専門家から正しい知識を学ぶ、参加者同士の交流を通じて就労について考える機会とできた。

■実施概要と進捗

第3ステップ
アウトリーチ型キャリア形成支援

豊中市男女共同参画センター（すてっぷ）を会場として行う
ママ対象セミナーの企画・実施

<ターゲット>
冊子、特設サイトからの女性
※例外もあり
妊娠5～8ヶ月の女性、出産後は
月齢8ヶ月以上くらいがコア

<目的>
リアルに他者と触れ合える環境をつくり、
より深い学びへと導く
<テーマ>
正社員キャリアへの意欲喚起を見据えた
お金に関するあらゆる基礎理解

文部科学省 平成 31 年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業」

子どもの夢を応援するママになるためのマネーセミナーのご案内

2019年11月8日(金)
10:00～12:30
参加費:無料

お申込みはこちらから

子どもができれば、やっぱり心配なのは教育資金！
将来、あなたの子どもの自分で考えた進路がもし学費の方から大学や専門学校だったら…？
ほんの少しだけ前足を忘れ、お金の基本を専門家から学びませんか？

会場: 豊中市男女共同参画センター すてっぷ 視聴覚室
豊中市玉井町 1-1-1-501 エトレ豊中5階
http://toyonaka-step.jp/10_about-2/center_guide/access/

対象: 子育てママ(育児中の社員の方、安定期に入られてからの妊娠ママも歓迎)
定員: 30名
※保育条件: 定員15名(先着順) お子様の年齢: 10ヶ月～就学前 (10ヶ月に満たない場合は保育士に預けます。ご相談ください)

第1部 10:00～11:20
子どもの夢を応援するママになるためのマネーセミナー
10分休養(お子様のお迎えをお願いします)

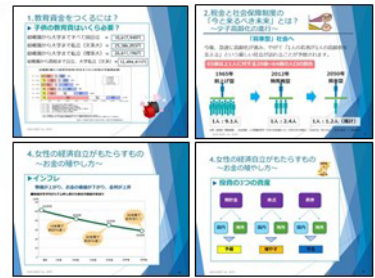
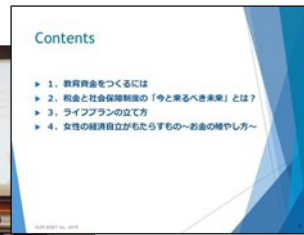
第2部 11:30～12:30
【お子様同伴】ヘルシーおやつをいただきながらの交流会
これからのライフコースのこと、働くママは？
本音や悩みを共有！
未来を考えるうえでの様々な不安を解消しましょう。

講師 浅野 恵子さん
株式会社LPSアセット シニアセットマネージャー
ファイナンシャルプランナー

ぜひお申し込みください
お申し込みは
こちらから

豊田事業所: 株式会社アクセプト(ふえかなーるプロジェクト事務局)

■第1部(マネーセミナー)



<マネーセミナーとしての内容への満足度(プラス評価の理由)>

- お金のことを改めて考える機会になったから
- 気になっていた株式等の話が聞けて勉強になったから
- 投資信託なども難しいイメージがあったがわかりやすく解説して下さったから
- 情報量が多く理解するのに時間がかかったが重要なポイントを教えていただいた(投資信託、ideco、アクティブ・インデックスの違い)
- 株や投資のことは自分には遠い話だと思っていたがこれなら自分も試せるかもしれないと興味を持つことができた

<未来を考えるうえでの意識・行動意欲>

- 将来の年金等不安があったので計画を立て、安心して生活できるように参考にしたい
- 自分の老後について考える年代なのでお金を増やすことは大切だと思っているところに、実践的な説明だったので活かせると思った
- 子どもが成人し、その後の生活設計に参考になった
- これから自分の所得が安定してきた時に一度ライフプランを立ててみたいと思う

<女性の経済的自立への心地的変化(「肯定的に変化した理由」)>

- やっぱり今は馬力でやっていった方が安心だと思ったから
- 現在は半数以上共働きという日本の現状を知り、女性の活躍の場が昔よりも増えていくことが大切と思ったから
- (正社員ではない)私の収入がまだ少ないので、増やしていくことが家族の支えになると思ったから
- お金の必要性和増やし方としてはよくわかったが、「女性の経済自立」というこのアンケートの質問の意図が捉えづらかった

女性の経済的自立という言葉とセミナー内容に
ギャップを感じる方は第二部でフォロー

■第2部(交流会) ①教育資金自分なりのアクション共有 ②「豊かな生活」とは？自分なりの定義 ③質疑応答など



アンケートにあった女性の経済自立というのがよくわからなかったのだが...

- お金は貯めるだけでは増えない、インフレにより価値も下がる、増やすことを考えなければ。
- 株式、投資信託...そのために充てられるようなお金を自分が働くことでつくる、ということ。
- 財布が2つあれば安全。
- その基礎を理解するために金融・経済的なことをしっかり知っておこうね、ということが大切。
- それがここで言う女性の経済的自立。

<3人の子育てママ、末子は年少>

子育てと仕事、両立が大変で、仕事をどうしてもセーブせざるを得ない...結果的に正社員の壁がとて高い。

<高校生を頭に3人の子育てシングルマザー先輩ママ>

専業主婦長かった。両親が元気ですぐ来てもらえた、近い距離感にあったので助かった。
子どもがご飯をつくれるとか、洗濯しておいてくれるとか、子どもの自立に力を入れてきた。
それで今助かっている。

<子どもは成人、先輩ママ>

公的機関をよく利用させてもらった。地域のファミリー・サポート・センターや保育サポーター、あと夫との交渉。
近所のママ友同士の連携など、地域とうまくやっていくことはとても大切だと思う。

<最後に浅野さんからのエール>

子育てしながら仕事するのは、大変だと思うが、生きがいは心の糧。
今仕事していない人は、子育てが全てになる。趣味は子ども、という声をよく耳にする。
ライフプランに過去チャレンジした人もいらっしゃるが、感想をいただいたように、一回やったら終わりではない。
あせらず、大きなビジョンを見つけ、自分の強みを見つけ自分を探し、学び続けることが大切。

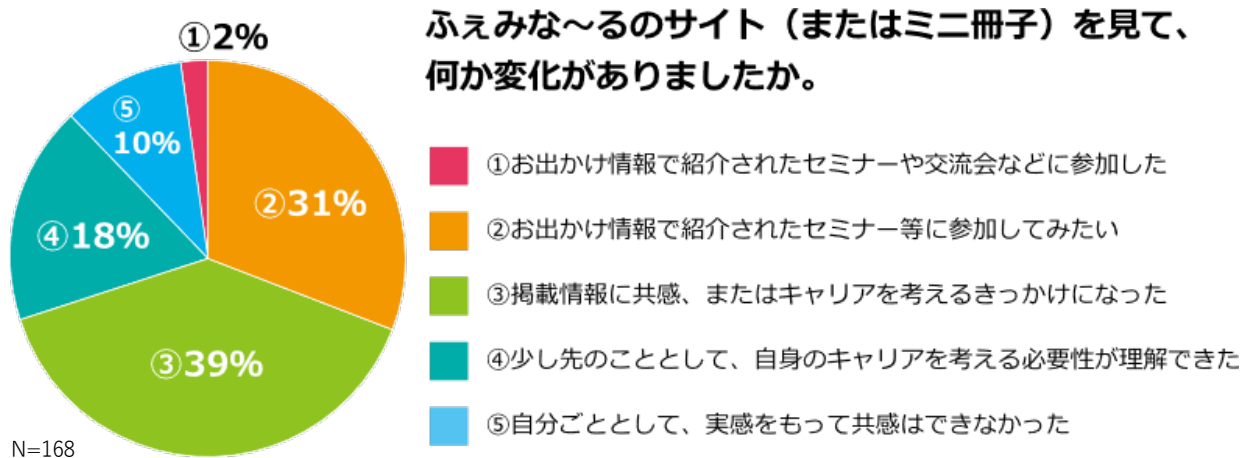
参加人数は少なかったものの、知っているようで知らなかったお金の基本的なこと、ネットではなかなか理解が難しい資産運用のことを理解することができる有益な時間となった。

事業実施スケジュール

		チャンネルに 対するアプローチ	ミニ啓発冊子	WEB サイト	マネーセミナー	成果・効果測定 (アンケート集計・ 分析、報告書)	研究協議会
8月	1週			コンテンツ企画・デザイン イメージ作成 ↓ サイト作成、初回原稿 作成、更新リソース収集			第1回(8/6)
	2週	男女共同参画部署 訪問					
	3週						
	4週		秋号企画・作成		プログラム企画		
9月	1週			調整			
	2週	保健福祉、就労支援 部署訪問		開設(9/12)			
	3週			更新			
	4週		印刷				
10月	1週		秋号発行、発送	更新			
	2週						
	3週	教育委員会訪問		更新			
	4週	社会福祉協議会 訪問		アクセス解析	最終調整		
11月	1週		冬号企画・作成				
	2週				セミナー実施(11/8)		
	3週	ママ支援団体等 訪問		更新		アンケート集計	
	4週			アクセス解析			
12月	1週		取材、原稿作成、各団体 との調整	更新			第2回(12/2)
	2週			ウェブアンケート設計			
	3週		印刷	更新			
	4週		冬号発行、発送	アクセス解析			
1月	1週			更新			
	2週						
	3週			更新			
	4週			アクセス解析		アンケート集計	
2月	1週			更新		結果分析(仮)	第3回(2/6)
	2週						
	3週			更新			
	4週			アクセス解析		アンケート締切	
3月	1週					結果分析	
	2週			アクセス解析		報告書作成	

実施により得られた成果・効果

(1) キャリア形成、キャリアアップに対する肯定的な意識の変容



肯定的に意識や行動が変化した人は 90%。

うち、2%の人は特設サイトから発信したセミナー、交流会などに参加したと回答しており、キャリア形成、キャリアアップに対する意識が肯定的に変化したと考える。

(2) 地域ネットワークの巻き込み、SNS を活用した効率的・効果的な広報展開

結果として連携できた産婦人科が想定よりも少なかったため、その課題解決としてターゲットと接点を持つ他の団体の発掘を新たに行った。

豊中市社会福祉協議会や豊中市議会議員、豊中市内で女性向けサービスを展開する企業、女性支援を行う NPO 団体などに対して地道にアプローチした結果、地域の社会課題解決に取り組むさまざまなキーパーソンを中核とし、その先につながる対象にリーチする連携ネットワークを構築することができた。

特設サイトはより多くの女性に周知させたいとの思いから、サイト制作・運用を担う研究協議会メンバーと調整、共感型広報に有効な口コミ戦略を導入。ブログや SNS で多くのファンを持つ 3 名のママインフルエンサーの協力を得た。ママたちそれぞれのネットコミュニティを起点とし、SNS を駆使した情報の拡散を実施。この手法は特に、後に実施したウェブアンケートにおいて、効果を発揮したと考える。



(3) 事業の効果的な周知と学びの提供

特設サイトはコンテンツのいずれかの情報を毎週更新というタイムリー性を打ち出し、地道にファンづくりに努め、公開期間半年間の間にサイトの PV 数は 10,979（2 月末時点）、ユーザー数は 2,275 人だった。1 セッション当たりの閲覧時間は 2 分～4 分と、しっかりと読み込まれていると推測できる。

<第1ステップ：学びへの動機づけ（Push型広報）>

産婦人科・助産院、母子保健課、地域の中核組織、関係者を通じ、対象との接点機会を活用した広報

●ミニ啓発冊子2種の企画、制作→秋号・冬号発刊

●ミニ啓発冊子の配布 2,000部×2回→秋号・冬号、関係者含めほぼ全数配布

<ミニ啓発冊子への主な反響>

●ママの支援団体（NPO）

- ・早速メンバーに配布させて頂きました。参考になる内容ばかりだと私たちも喜んでいました。
- ・親子で参加されるお母さんの中には、いずれ働きたいと考えていたり、『子育てだけでは社会から取り残されたような感じがするから子育て中だからこそできることをやってみたい』と地域の活動をさがしておられる方もいらっしゃいます。そんなお母さんたちにはとても有益な冊子だと思います。

●連携した自治体の女性就労支援に関わる部署

本日冊子が到着し、拝見いたしました。

素敵な冊子に私どもの情報も入れていただき、有難うございます。

●ミニ啓発冊子掲載情報の出典協力をいただいた他の自治体の子育て支援に関わる部署

冊子をお送りいただき、ありがとうございました。今後の事業の参考にさせていただきます！

<第2ステップ：さらに深い学びの提供（Pull型広報と学びの提供（啓発）>

特設サイトを通じた事業広報と学びの提供（啓発）

●アクセス数：9月20日～2020年2月28日で4,500PVの目標に対し、10,979PV

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	累計
ユーザー数	927	298	139	267	328	316	2,275
新規ユーザー数	921	250	113	230	276	278	2,068
セッション	1,321	530	228	462	448	431	3,420
ユーザーあたりセッション数	1.43	1.78	1.64	1.73	1.37	1.36	1.55
ページビュー数	4,597	1,532	773	1,516	1,298	1,263	10,979
平均ページ/セッション	3.48	2.89	3.39	3.28	2.9	2.93	3.14
平均閲覧時間	00:02:47	00:02:18	00:03:18	00:03:46	00:02:21	00:02:30	00:02:30

●女性のキャリア形成に関する意識をはかるインターネットアンケートの開発と実施

アンケート実施 有効回答数目標 300件に対し、有効回答数 168件

アンケートへのご協力をお願い

これからの生き方を考える！自己ふりかえりにも役立ちます。

ここからアクセス！

文部科学省 2019 年度
男女共同参画推進のための
学び・キャリア形成支援事業
受託事業者
株式会社 アクセプト

ふえみな～る
「未来を考えるママ」のためのまなび・共創プロジェクト

未来を考えるママへのステップアップに活かしてみませんか？

冬号にアンケート協力をお願いチラシを挟み込み、冊子とサイトを通じて接点を持った対象に周知したほか、事業で連携した団体それぞれが繋がる対象に対し、協力依頼を行った。途中、SNSを通じ、複数回りマインドを行った。目標数には達しなかったが、女性向けキャリア支援を行う上で有効なデータの収集ととりまとめができたと考える。

<第3ステップ：アウトリーチ型キャリア形成支援>

●地域の男女共同参画センターで新米ママを対象とした出張セミナー実施【1回】

セミナー名：子どもの夢を応援するママになるためのマネーセミナー

会場：とよなか男女共同参画センター ステップ 視聴覚室

日時：2019年11月8日（金）10：00～12：30（11：30～12：30 交流会）

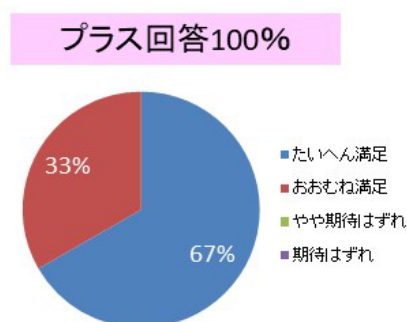
対象：子育てママ（育休中、安定期に入られてからの妊娠中ママも歓迎）

参加者数：7名

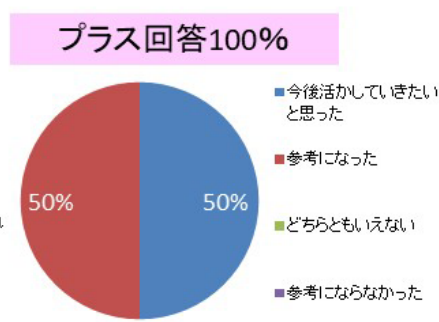
●セミナー実施後の意識の変化をはかるペーパーアンケートの開発とセミナー時での実施

●集計の結果、満足度が80%以上→達成

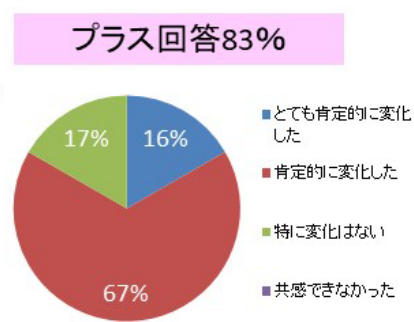
1.ワークショップ全体の満足度について



2.未来を考えるうえでの意識・行動意欲



3.女性の経済自立に対する心境の変化



マネーセミナーとしての内容への満足度（プラス評価の理由）

- ・お金のことを改めて考える機会になったから
- ・気になっていた株式等の話が聞けて勉強になったから
- ・投資信託などとても難しいイメージがあったがわかりやすく解説してくださったから
- ・情報量が多く理解するのに時間がかかったが重要なポイントを教えていただけた（投資信託、i d e c o、アクティブ・インデックスの違い）
- ・株や投資のことは自分には遠い話だと思っていたがこれなら自分も試せるかもしれないと興味を持つことができた

未来を考えるうえでの意識・行動意欲

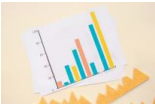
- ・将来の年金等不安があったので計画を立て、安心して生活できるように参考にしたい
- ・自分の老後について考える年代なのでお金を増やすことは大切だと思っているところに、実践的な説明だったので活かせると思った
- ・子どもが成人し、その後の生活設計に参考になった
- ・これから自分の所得が安定してきた時に一度ライフプランを立ててみたいと思う

女性の経済的自立への心境の変化（「肯定的に変化した理由」）

- ・やっぱり今は2馬力でやっていった方が安心だと思ったから
- ・現在は半数以上共働きという日本の現状を知り、女性の活躍の場が昔よりも増えていくことが大切と思ったから
- ・（正社員ではない）私の収入がまだ少ないので、増やしていくことが家族の支えになると思ったから
- ・お金の必要性和増やし方としてはよくわかったが、「女性の経済自立」というこのアンケートの意図が捉えづらかった

※→女性の経済的自立という言葉とセミナー内容にギャップを感じる方がいたため、第二部でフォロー。

●特設サイトを通じ、他の団体が実施するキャリア支援セミナー等への参加促進

対象区分	対象者	セミナータイトル	開催日	曜日	開始時間	終了時間	定員	PR文章	画像
求職者向け	女性・ママ	プチ体験保育 働くママ応援コーナー秋まつりにみんな集まれ〜♪ & 保活の 一歩	9月18日	水	10:00	11:30	15	働くママ応援コーナーの秋まつりを開催します！お魚釣りのあて、ボーリング！最後はみんなで一緒に楽しく踊りましょう！エル・おおさか南館にある「保育ルームキッズもみの木」の先生とお友達も遊びに来てくれますよ。タイムリーな保活情報もお届けします。	
求職者向け	女性・ママ	エゴグラムで見る！私の強みと弱み	9月21日	土	10:00	11:30	20	女性・ママにおすすめ！特性を診断できる「エゴグラム」についてお伝えします。自分の行動パターンや特徴を知り、強みと弱みを考えてみませんか？お仕事選びや日々の行動、あなたらしい選択の参考になります。	
求職者向け	女性・ママ	女性のための合同企業説明会「ハッピー-JOBフェア」	9月21日	土	11:00	16:00	なし	大阪府、大阪市主催女性のための合同企業説明会。女性の採用に積極的な各種認証企業等が大集結します。一時保育などの安心して参加できるサービスや相談会などもご用意して、皆さまの参加をお待ちしております。	
求職者向け	女性・ママ	保活のすずめ♪「保活攻略！ど狙い目保育園の見つけ方」	9月25日	水	10:00	11:30	15	2020年4月入園に向けた保育所情報（大阪市の情報を中心となります）と、狙い目保育園の見つけ方をご案内します！保活は情報戦とも言われています。実例も交えながら保活攻略をわかりやすくお伝えします。	
求職者向け	女性・ママ	わたしと向き合う90分「仕事×家庭の両立や解消ワークショップ」	9月26日	木	10:00	11:30	20	仕事と家庭の両立をめざしているけど「こねさる不安」「家族の理解がない」とお悩みの方へ。家族が協力的なチームになる方法や、両立のヒントをお伝えします。参加者同士でのお悩み相談タイムも！	
求職者向け	女性・ママ	就活のすずめ♪事務職をめざすママ向け「印象アップ接遇セミナー」	9月27日	金	10:00	11:30	15	日本一の接客マナーをめざす企業が、好印象を与える挨拶の仕方・姿勢などを楽しく実践しながらお教えします。面接、電話などで良い印象を与える“笑顔（えそ）”の効果、第一印象の大切さなどをしっかり学べるチャンスです！	
女性向け	女性・ママ	わたしと向き合う90分「ゆとり時間を見つけよう！時間と暮らしの整理術」	10月24日	木	10:00	11:30	20	「バタバタしている間に1日が終わる」「もっとやりたいことがあるのに」「時間がなくて気持ちの余裕もない」とお悩みの方へ。一度ゆっくり落ち着いて、自分の暮らしを見直してみませんか？優先順位や使い方を整理して、時間と気持ちの余裕を作りましょう。	
求職者向け	女性・ママ	プチ体験保育 ハロウィン①で一緒に遊ぼう♪ & 保活の一歩	10月30日	水	10:00	11:30	10	10月といえばハロウィン！みんなで、ハロウィンパーティーごっこをして遊びましょう♪かわいい衣装もして手作りカバンを持ったら気分はトリックオアトリート③保活に役立つタイムリーな保活情報もお届けします。	
求職者向け	女性・ママ	【親子同伴OK】ここから始める♪保活の第一歩「保活のノウハウお伝えします」	11月15日	金	10:00	11:30	10	入所申請も終わりほったらかしたのつつかの間、各保育園の申し込み状況はどうなっているのかな〜など気になること、知りたいことはいっぱい！そんなママさんたちのこれが知りたいを解消するセミナーです。ご参加お待ちしております♪	
求職者向け	女性・ママ	おしゃれでかっこいい女性に！オトナ女子のスーツ着こなし講座	11月16日	土	14:00	16:00	35	オフィスでのスーツ、どのように着こなしていますか？スーツの着こなしは少しの工夫で印象が変わります。ビジネススタイルからオフィスカジュアルまでオトナ女子のスーツの着こなしパターンやインナーの合わせ方などを紹介します！	
求職者向け	女性・ママ	A N A が教える！「おもてなしのマインド」	11月19日	火	10:30	12:00	20	ANA客室乗務員はプロの接客者として、お客様への「おもてなしの心」を様々な場面で求められています。その「ANAブランド」のエッセンスを学び、これからのビジネスシーンに役立つ接客の基本を身につけましょう。	
女性向け	女性・ママ	肌トラブルでお困りの女性を応援！近畿大学病院皮膚科皮膚疾患セミナー	11月25日	月	14:00	15:00	20	「周囲の目が気になる」「肌の悩みで気分よく過ごせない」とお悩みの女性のためのセミナーです。質問や相談のお時間もご用意します。	
女性向け	女性・ママ	はたらく学校「保健」育待ち相談室（世の中が眩しすぎて困っています）	11月28日	木	19:00	20:30	200	毎日それなりに頑張っているけれど、SNSで見かけた他人のまぶしい姿を、つい自分と比べてため息が…そんな世の中に目くらんでいるあなたへ。等身大の悩みに応える2人の女性ゲストが、明日からの気分が少し上向きになるヒントをお届けします。	

対象区分	対象者	セミナータイトル	開催日	曜日	開始時間	終了時間	定員	PR文章	画像
求職者向け	女性・ママ	関西ばおしごとマルシェ出張セミナー「専門家が教える仕事選びのコツと強みの探し方」	11月28日	木	10:30	11:15	30	満足いく就職活動に必要な手順・仕事選びの際のチェックポイントと強みの探し方についてお伝えします。 自分の経験から強みを探るミニワーク付セミナーです。	
求職者向け	女性・ママ	関西ばおしごとマルシェ出張セミナー「あなたに合った思考とモノの整理術」	11月28日	木	11:00	11:45	30	仕事や日々の生活に役立つ整理の方法について、ご自身の思考や行動パターンに合った方法を考えます。もっと楽にできる整理整頓についてお伝えします。	
求職者向け	女性・ママ	美容部員が教える！アカ抜眉メイク講座&美容部員のホントのトコロ	11月29日	金	18:30	20:00	15	美容アイテムの大手口コミサイト「@cosme」運営会社、istyleグループより講師をお招き！プロが一番こだわる顔のパーツ、それは眉なんです！ぐとアカ抜ける「黄金比率眉」の書き方をお伝えします。さらに、美容部員経験のある講師が、未経験から美容部員になった経緯、美容部員の1日のスケジュールなどリアルな実情をお届けします。	
求職者向け	女性・ママ	よいこのための悪口メーカー 原田あき「明日もかわいく生きようね」	11月30日	土	14:00	15:30	40	よいこのための悪口メーカー 原田あきがやってくる！生活や仕事の話、苦しい出来事を乗り越えた時の考え方等を“悪口”をふんだんに使ってお話しします。 「自分に自信がない」と悩んでいるあなたへ…今の自分を受け止めるヒントを見つけてみませんか。	
親子向け	女性・ママ	【親子で参加】ものづくり体験教室 オリジナル絵本・コースターづくり	11月30日	土	10:00	12:00	20	絵本「おおきなかぶ」の世界に飛び込もう！あなたの描いた主人公が登場人物となって映像世界で動きだす。ポップでカラフルなモザイクアートに挑戦！タイルを使ったオリジナルコースターづくり。 府立工科高校に通う女子生徒がサポートします。	
求職者向け	女性・ママ	【親子同伴OK】GU接客のプロ「おしゃりスタ」が伝える印象アップセミナー	12月9日	月	10:00	11:30	20	GU接客のプロ「おしゃりスタ」が普段のコーデにプラスアルファで印象アップのお手伝い。 パーソナルカラーをベースに選ぶ季節アウターや小物、ストールの巻き方など簡単デコックやアイテムに合わせたフポイントメイクのアドバイスも。	
女性向け	女性・ママ	【親子同伴OK】わたしと向き合う90分 2020年も素敵な一年に！「未来手帳を作ろう」	12月11日	水	10:00	11:30	20	大事にしたい目標ってなんだろう…という疑問を一年を振り返りながら見える化し、整理するワークショップ。 自分だけの「未来手帳」を作って素敵な2020年を迎えよう！	
求職者向け	女性・ママ	【親子同伴OK】就活のすすめ！ハローワーク大阪東×OSAKAしごとフィールド働くママ応援就職面接会	12月11日	水	13:30	15:00	20	ハローワーク大阪東×OSAKAしごとフィールド。ママ・女性働きやすい「仕事と子育てが両立できる求人」を集めた就職面接会です。ワークライフバランスを考えて働きたいママを応援！ ※要事前申込み（当日参加可） ※事前にハローワークの紹介状が必要	
求職者向け	女性・ママ	【親子で参加】プチ体験保育 キッズもみの木&働くママ応援コーナー！みんなで一緒にクリスマス★&保活の一步	12月12日	木	10:00	11:30	10	働くママ応援コーナーにもクリスマスがやってきました♪「保育ルームキッズもみの木」と合同でクリスマス会を開催します！ どんな楽しいことがあるのかな？サンタさんにも会えるかな？みんなでクリスマスと一緒に楽しみましょう♪保活に役立つ情報もお伝えします！	
求職者向け	女性・ママ	【親子同伴OK】わたしと向き合う90分「印象アップで引き寄せ力を身につけよう！開運マナー講座」	12月18日	水	10:00	11:30	20	新年に向けて、印象アップマナーをお伝えします。 マナーは信頼を得るための大事なスキルで、就活やお仕事にも重要です。 印象を良くしてご自身の魅力を引き出すことで、人も幸運も引き寄せませんか？	
女性向け	女性・ママ	【親子同伴OK】お金のプロファッションが教える「人生設計」～夢をデザインしよう～ 自分に合ったライフプランを立ててみませんか？	12月20日	金	10:00	11:30	20	自分に合ったライフプランの作り方をFP(ファイナンシャルプランナー)が教えます。 「人生100年時代」に自分に合ったライフプランを立てよう！聞いたことがあるけど、よくわからない…お金の疑問を解決します！身の回りのお金を見直す・新たに考えるキッカケにしませんか？	
求職者向け	女性・ママ	『お子様連れOK!!』子育てで世代の働きたいを叶えてみよう	12月4日	水	10:00	12:00	なし	企業主導型保育施設との ファイナンシャルプランナーによる交流イベント & 特別セミナー ○働いてみたいけど、預けられる保育園があるか不安・・・○仕事は決まっちゃったけど、保育園が決まらない・・・○子育てでのお金がかかりすぎてから働きたいけど、いったいどれくらいかかるの？といった不安、心配のある方は大集合！みなさんのご近所の保育施設が集合して、“こんな施設ですよ！”と知ってもらいイベントを開催します！	
			12月16日	月					

対象区分	対象者	セミナータイトル	開催日	曜日	開始時間	終了時間	定員	PR文章	画像
求職者向け	女性・ママ	ここから始める♪保活の第一歩「保活のノウハウお伝えします」	1月22日	水	10:00	11:30	15	年も明け、4月入園を目指した保活も終盤を迎えています。今から始める保活もあるんです！何から始めたらいいんだろう、保育園ってどんな種類があるの？などの情報をお届けします。ぜひ働くママ応援コーナーにお越しください♪	
求職者向け	女性・ママ	わたしと向き合う90分「プロが教える 好印象を与える就活メイク講座」	1月29日	水	10:00	11:30	20	なりたい自分へ近づくための第一歩とも言える就活の身だしなみ。今回は、就活に役立つ「好印象」を与えるメイクのポイントをお伝えいたします。メイクの実演や、セミナーの最後に質問タイムもございます。（※当日は、普段お使いのメイク道具と、前髪を留めるピンをお持ちください）	
求職者向け	女性・ママ	【親子で参加】プチ体験保育 春はもうすぐ！お花いっぱいの手作りカードをつくらう♪&保活の第一歩	2月19日	水	10:00	11:30	10	春はもうすぐまでやってきています♪色とりどりのお花いっぱいのメッセージカードをつくりましょう。これからの保活に役立つ情報もお伝えします！	
求職者向け	女性・ママ	【親子同伴OK】わたしと向き合う90分「中小企業診断士が教える！女性のための自分らしい会社の選び方」	2月26日	水	10:00	11:30	20	結婚、出産、子育て等のライフイベントで働き方が変わる女性の方へ。就職や転職の際に企業選びで迷うことはありませんか？中小企業診断士が、自分らしく働きやすい企業選びのポイントをお伝えします。	
求職者向け	女性・ママ	シングルマザーのためのハナミズキセミナー「第4回 わたしを大事にしながら子育て」						お母さんの笑顔は、子どもの笑顔につながります。日々、がんばっている自分セルフケアして、子どもと楽しく共有しましょう。	
女性向け	女性・ママ	【親子同伴OK】わたしと向き合う90分「ちょっと見つけるナビゲーションづくり」						産後や育児の悩みや子育てのヒントをお伝えします。暮らしの仕組みを良くすることで、仕事や生活を快適にしましょう。	
求職者向け	女性・ママ	わたしの「理想の働き方」を発見！ワークスタイル・トラップ	3月5日	木	10:00	11:30	20	「自己分析って、何から始めたらいいかわからない。大事にしたい自分の気持ちって？」という疑問を不思議なトラップを使って整理するワークショップ。自分の価値観について掘り下げて今後の就活に活かしてみませんか？	

新型コロナウイルス感染者拡大防止策としての大阪府の方針に従い、2/20～3/13の期間に開催のイベントは全て中止となった。

第4ステップ：再就職支援

再就職に関する活動追跡のエビデンスとするために大阪府と調整し、1月以降に実施の求職者向けセミナーの参加者アンケートのセミナー認知経路の回答肢に当事業の媒体名である「ふえみな〜」を追加、アンケートを実施いただいたものの、セミナー実施アンケートでは拾うことができなかった。但し、特設サイトのウェブアンケートでは、お出かけ情報で紹介されたセミナーや交流会などに参加したと回答された方はわずか2%ではあるが存在した。

9/12にサイトが開設、サイトからの情報発信期間としては実質半年程度であったことから、研究協議会メンバー全員から、あと2年くらいの期間があれば、さらに効果が見込めるのではないかという意見が出た。

アンケート

【12月20日 お金のプロフェッショナルが教える「人生設計」〜夢をデザインしよう〜 2019年12月20日（金）】

本日はご参加ありがとうございます。今後の参考とさせていただきますので、アンケートにご協力をお願いいたします。

■年齢

歳

■お子さまの年齢

歳

Q1 このセミナーをどのように知りましたか。（複数回答可）

1. OSAKA しごとフィールドのセミナーカレンダー（入手場所： ）
 2. 働くママ応援コーナーのセミナーカレンダー（入手場所： ）
 3. WEBサイト（OSAKA しごとフィールド・大阪府HP・その他）
 4. メルマガ 5. インスタグラム
 6. 日本生命保険相互会社からの案内 7. 未来を考えるママのためのまなび・共感サイト「ふえみな〜」
 8. その他（ ）

Q2 イベントに参加した感想をおきかせください

1. 大変満足 2. 満足 3. ふつう 4. 満足できなかった 5. まったく満足できなかった

Q3 どのようなセミナーに参加したいですか。（複数回答可）

1. 保活・保育所情報に関するセミナー 2. 幼稚園に関するセミナー 3. コミュニケーションスキルセミナー
 4. 育児と仕事の両立セミナー 5. キャリアデザインセミナー 6. 就活スキルアップセミナー 7. PCスキルセミナー
 その他参加したいセミナーがありましたらご記入ください

Q4 いづれお仕事に就きたいとお考えですか？

1. いますぐにでも 2. できるだけ早く 3. いい仕事があれば 4. 子育てが落ち着いたら 5. 今は働く気はない

補足事項

Q5 OSAKA しごとフィールドにおいて、ママ向けにどんなサービスがあればいいと思いますか？

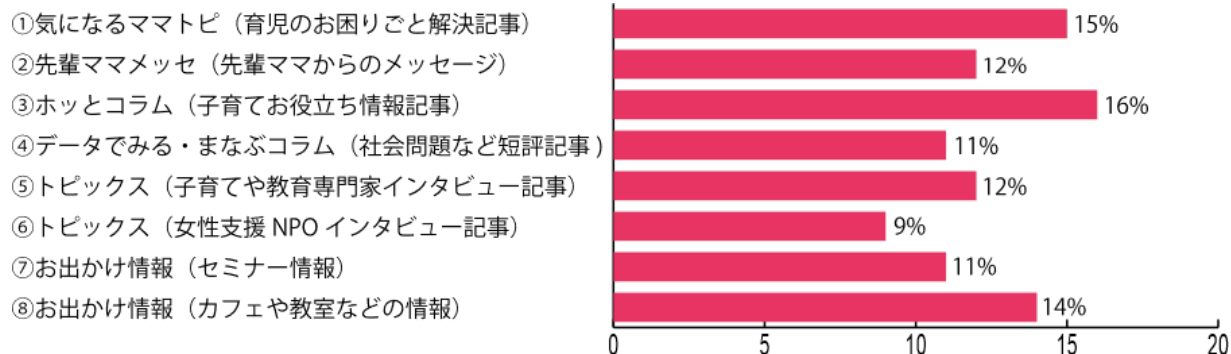
Q6 セミナー全体を通してのご意見・ご感想があれば、お願いします

ご協力ありがとうございました。

尚、お預かりした個人情報は、セミナーにおける改善のための調査・分析にのみ使用させていただきます。
 また、本アンケートの集計結果は講師である「日本生命保険相互会社」様と共有させていただきます。

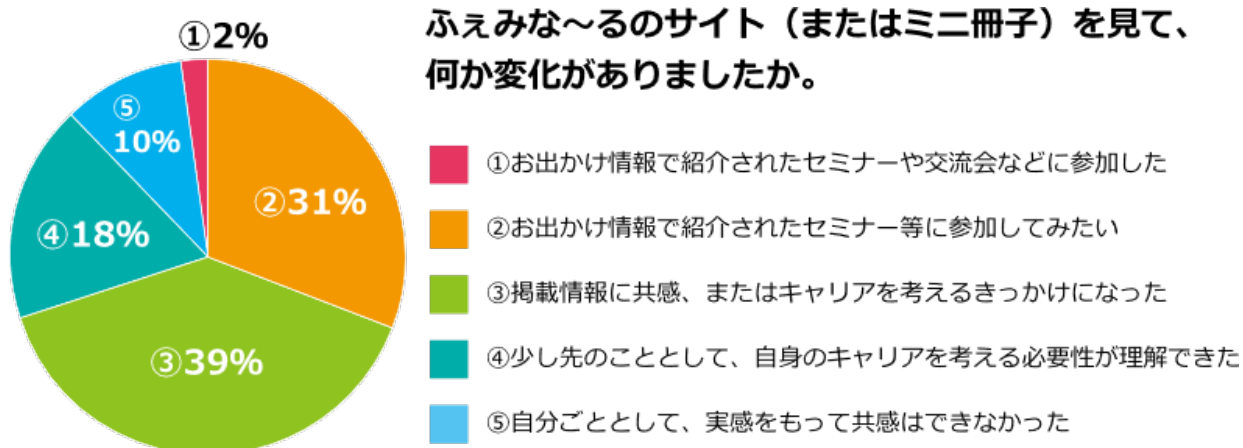
●ウェブアンケート結果（n=168）

1. ふえみな〜るのサイト（またはミニ冊子）で特に興味をもてた（または、役に立った）内容を3つお聞かせください。（複数回答可）



バランスよく閲覧されているが、どちらかと言えば、キャリア形成に関する学び・啓発記事よりも、育児の悩み解消、育児に関連したお役立ち、お出かけ情報にしても、子連れで楽しめるカフェや教室の情報等、「今、直面していると想定されるお困りごとの解消や今、楽しめる」情報が好まれる傾向にあると考えられる。

2. ふえみな〜るのサイト（またはミニ冊子）を見て、何か変化がありましたか。

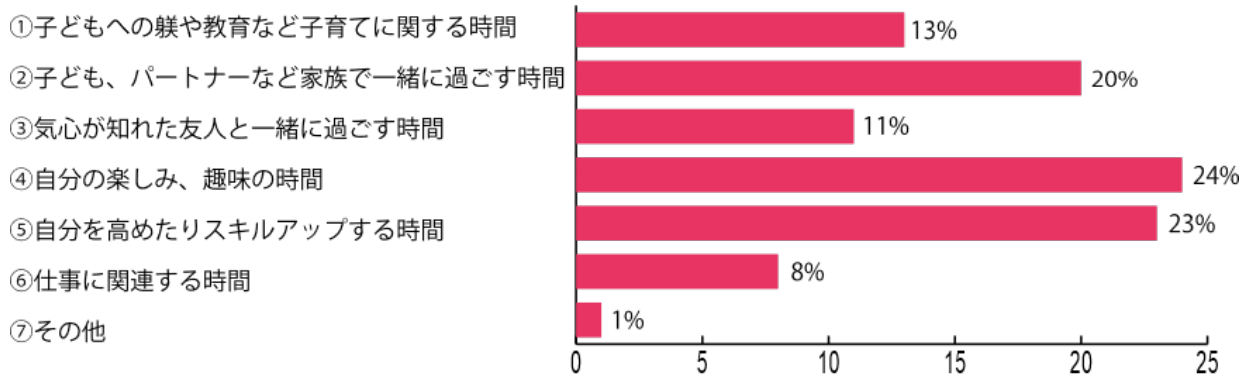


この事業における成果を見るうえで、キャリア形成に関わる気持ちや行動の変化を知るための最も重要な設問である。

「お出かけ情報で紹介されたセミナーや交流会などに参加した」はすでに行動した、「お出かけ情報で紹介されたセミナーや交流会などに参加してみたい」は行動意欲が喚起されつつある、「掲載情報に共感、またはキャリアを考えるきっかけになった」は「現時点」で自身のキャリアを考える必要性を理解した、「少し先のこととして、自身のキャリアを考える必要性が理解できた」はキャリアを考える必要性についての啓発ができた、ということを見る。「自分ごととして、実感をもって共感できなかった」以外の回答肢は、気持ちが肯定的に変化、且つ自己啓発のために行動したということが言える。それぞれを合算すると、意識や行動が肯定的に変化した人は90%を占めた。（うち、2%が実際にセミナーや交流会に参加したと回答）もともと子育てコミュニティを閲覧する程度の軽い気持ちで来られたとしても、サイト記事を読み進めたことがきっかけで、意識や行動は肯定的に変化した。ターゲットニーズに合った情報、啓発したい情報、バランスよく、且つターゲットの学びのタイミングに沿った頻度の発信をすることで一定の啓発成果は出ると考えられる。

※サイト記事全てをご覧いただくことは、アンケート回答条件とした。

3.1) 今のあなたが、「もっと増やしたい、充実したい」と思う時間についてお聞かせください。
(複数回答可)

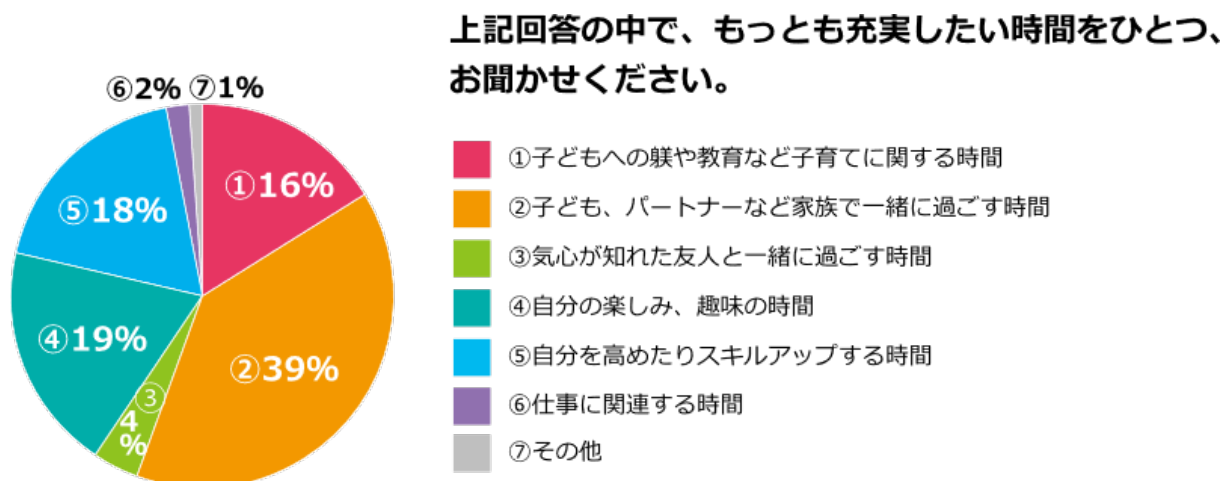


<その他>

- ・家事や家のことをする時間。仕事をしていると、時間は限られるけど、子どもとの時間はこれ以上減らせないし、家族と一緒にいられる時間はもっと少ないので、そちらを優先してしまう。
- ・子育てが落ち着き自由な時間も増えたが何をしたいのかまだ分からない
- ・ボランティア、社会関係作り。
- ・スキルアップしたことをアウトプットする時間。

「自分の楽しみ、趣味の時間」と「自分を高めたりスキルアップする時間」の2つが最も選択率が高い。次いで「子ども、パートナーなど家族と一緒に過ごす時間」の選択率が高くなっている。

3.2) 上記回答の中で、もっとも充実したい時間をひとつ、お聞かせください。

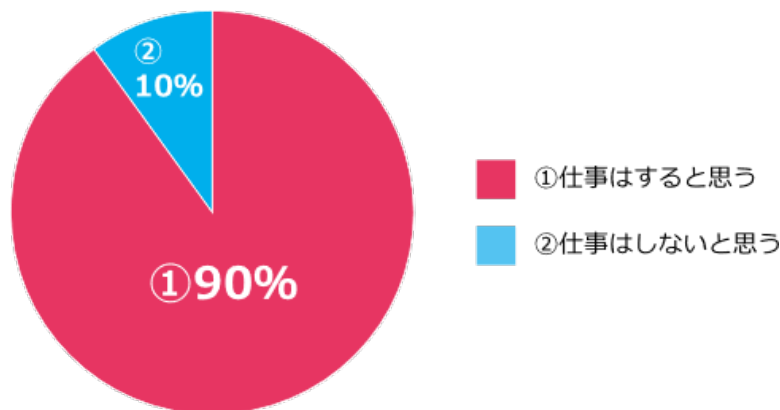


3.1) で回答した複数の中からあえてひとつを選ぶなら、「子ども、パートナーなど家族と一緒に過ごす時間」が4割弱と最も多い。次いで「自分の楽しみ、趣味の時間」の2割強。

ひとつに絞るという条件が付くと「子ども、パートナーなど家族で過ごす時間」の選択率が圧倒的に高くなる要因としては3.1)の自由回答にヒントがあるとみている。後述の設問8の通り、子育てをしながら働く女性が8割を超えていることを考えると、仕事、家事・育児に日々追われ、家族との団楽時間すら十分に取れていない、あるいは働くママがワンオペ育児に陥っているのではないかという見方もできる。

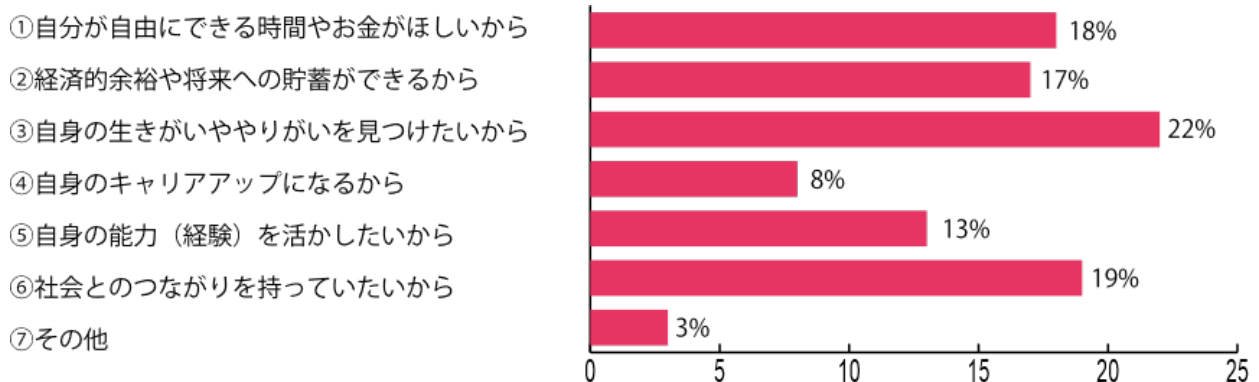
この解消については、パートナーとの家事・育児分担や職場の風土改革など、総合的な改善がされない限り、解消は難しい。セルフ働き方改革、パートナーとの協力関係を築く働きかけなど、例えば「すぐにでもできるワンオペ育児解消!」といった、個人にリーチする啓発情報をわかりやすい形で発信することの必要性を感じる。

4. 自身の収入に関わらず、家族（家庭）が経済的に無理なく生活できると仮定した場合、あなた自身の仕事についてどのように考えますか？ひとつお選びください。



経済的に無理なく生活できると仮定しても、「仕事はすると思う」が9割以上だった。

5. 4で「①仕事をすると思う」と回答した方へ、その理由をお聞かせください。（複数回答可）



<その他>

- ・子供に仕事はしんどいけど、人の役に立つことはそれ以上の充実感があると伝えたいから
- ・余裕も十分なら、もう少し減らしたい
- ・育休明けからずっと仕事をしていて経済的にも、やりがいも充実しているから。
- ・経済的な自立を保ちたい
- ・子どもに働くことについて考える機会をもってもらい、生きる力を身につけてもらいたいから
- ・選択しないと「完了」にならないため、その他を選択します。
- ・今の会社と人に、魅力を感じるから。
- ・仕事をするのが面白いから
- ・志すものがあるから

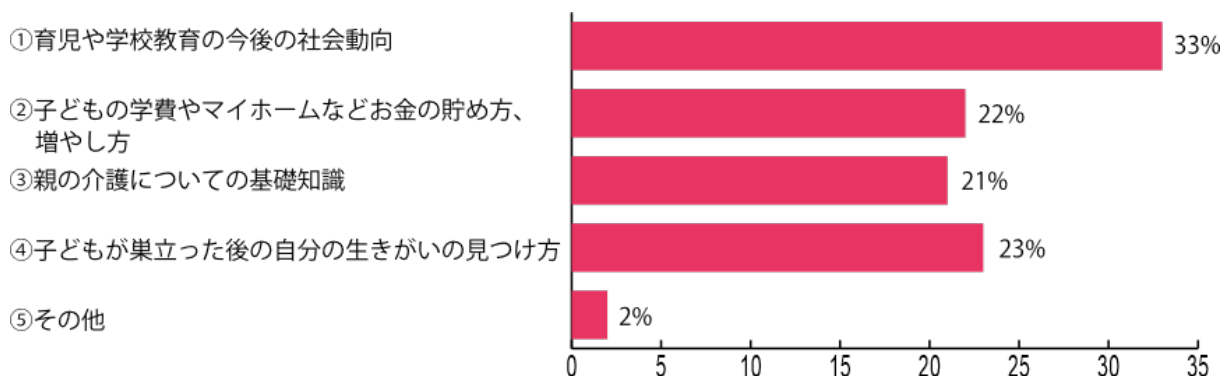
マズローの欲求5段階説



「自身の生きがいややりがいを見つけないから」が最も選択率が高く、次いで「社会とのつながりを持っていたいから」、「自身の能力（経験）を活かしたいから」と続く。

マズローの法則（5段階欲求説）に当てはめて考えると、“社会的欲求”、“承認欲求”、中でも最上位である“自己実現欲求”が高い女性が特に多く、キャリア形成への意識が高いのは興味深い。これは後述の回答者の年齢層が比較的高めであることも関係している可能性がある。また「自分が自由にできる時間やお金がほしいから」、「経済的余裕や将来への貯蓄ができるから」といった、経済理由に関わることについては、より豊かな暮らしや自分の楽しみ、趣味、スキルアップ、またニュースになった2,000万円問題など老後不安も反映していると考えられる。

6. あなたの将来のために興味あるテーマは？※複数回答可

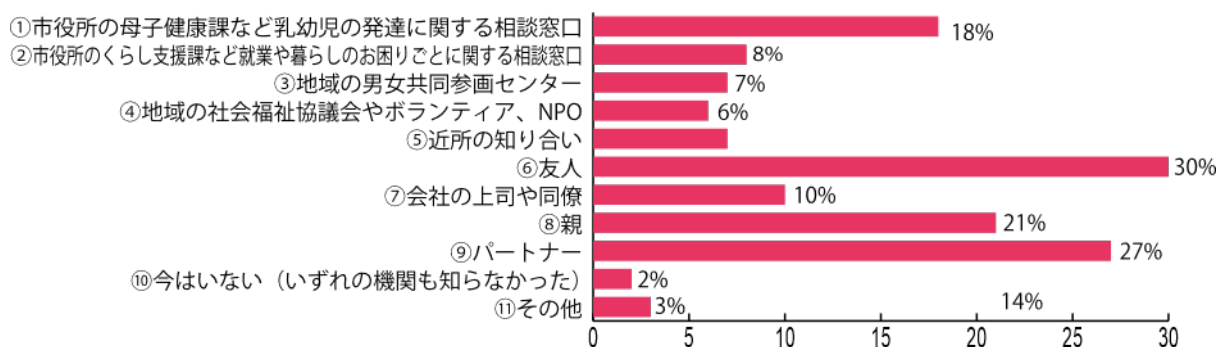


<その他>

- ・環境・政治
- ・定年を迎えたあとの自分のキャリアについて
- ・長期入院している児童へのサポート
- ・生涯教育の動向、将来のための準備
- ・趣味を仕事にするような知識と技術

「育児や学校教育の今後の社会動向」の選択率が最も高い。後述の回答者の年齢で 30～40 歳代が多いことと近年の晩婚化傾向を鑑みると、乳幼児～中学生の子どもをもつ母親までが想定され、育児や学校教育に対する関心が高いのは必然と言える。

7. 不安に感じた時や困った事について相談したことがある、または知っている地域の施設（窓口）や身近な人について教えてください。（複数回答可）



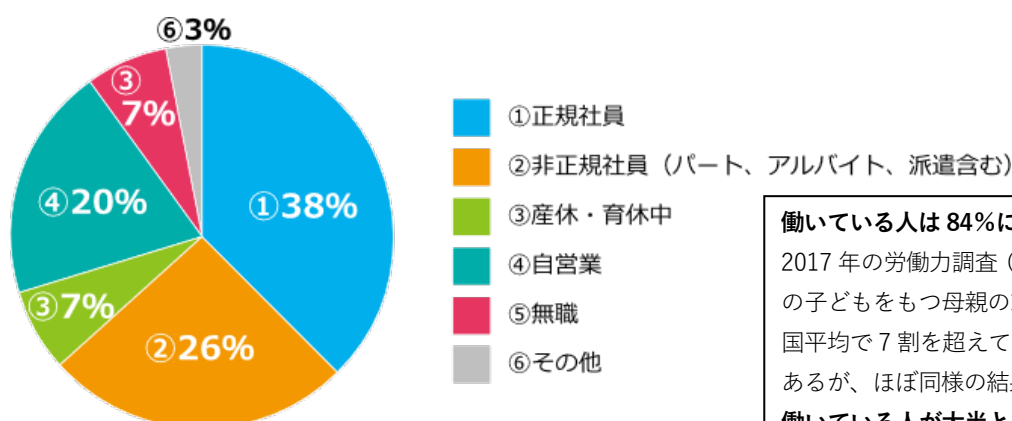
<その他>

- ・インターネット
- ・発達支援センター
- ・仕事外で繋がっている知人
- ・NPO 法人マザーズサポーターズ協会
- ・子育て講座を受けた
- ・働くママ仲間や働く先輩ママ
- ・助産院、子育て支援センター
- ・コープの助け合い事業、鬱の電話窓口、病院
- ・社外メンター

パートナー、友人、親と続く。自治体や地域を活用している人も一定数いるが、相談する人や機関がない人もわずかながら存在する。これは地域の中で孤立している可能性があり、分母が増えるに連れ、増加する可能性がある。

地域の子育て支援機関が有機的につながり、効果的な情報を誰にでも確実に届けられる方法を検討する必要があると考える。

8. 今のあなたの就業形態は？

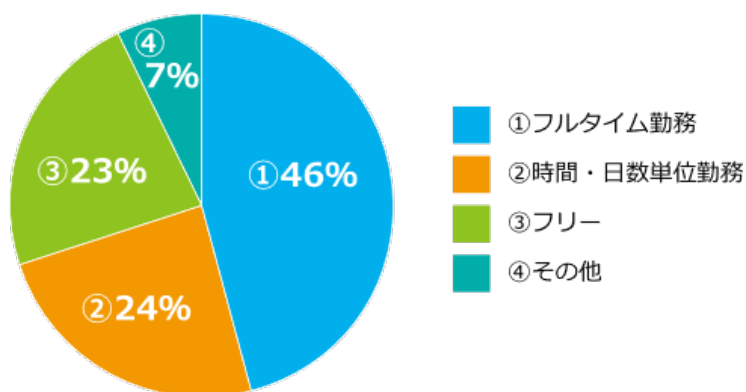


働いている人は84%に上った。

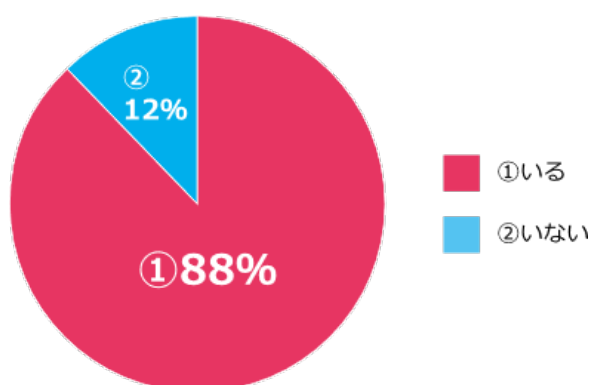
2017年の労働力調査（総務省）では小学生の子どもをもつ母親の就業世帯の割合が全国平均で7割を超えているというデータがあるが、ほぼ同様の結果となった。

働いている人が大半とはいえ、社会保障の観点からみると安定性で不安のある非正規、自営業の割合が多いのは課題。また働いている人の内訳では安定雇用の面で課題がある非正規であってもフルタイムで働き、時間に余裕がないと思われる人が存在するということが考えられ、この点からは社会保障の点から正規社員として働くことのメリットを訴求したマネーライフプランに関するアウトリーチ型セミナーやウェブにおけるシリーズセミナーは適切なコンテンツだったのではないかと考える。

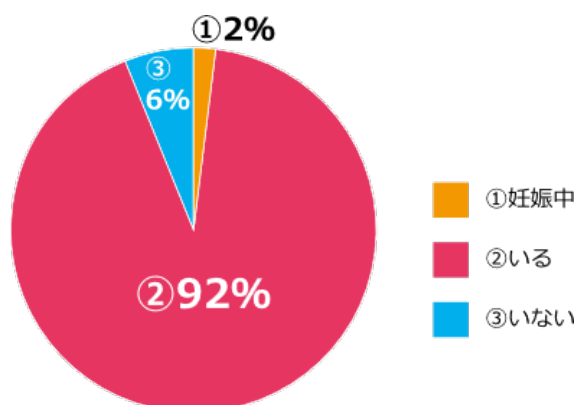
9. 今のあなたの勤務形態は？



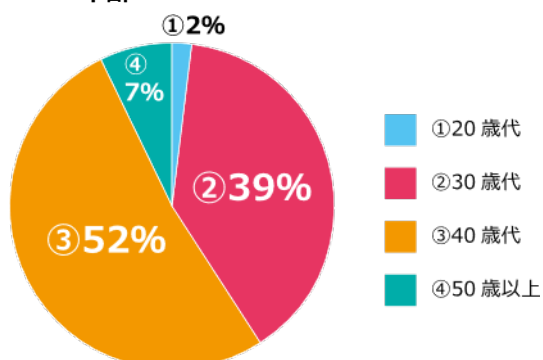
10. A 配偶者はいらっしゃいますか？



10. B お子さまはいらっしゃいますか？



11. 年齢



子どもがいる人が94%（内妊娠中が2%）、配偶者がいる人が88%ということから6%はシングルマザーと想定され、有効回答数から考えて割合は高めであると感じる。

年齢設問は有効回答が108名となった時点で追加した設問で60サンプル程度しかないが、参考までに集計結果を記載する。先述の通り、30歳代から40歳代で91%を占めた。

●研究協議会における事業自立化・普及化に向けた課題と改善への意見とりまとめ

事業を行ううえで必要な知見とスキルを備えた人財を研究協議会メンバーとして迎え、推進課題の抽出と改善のためのアイデアディスカッションを実施、女性活躍推進、女性の自立、生きづらさを抱える女性への支援など「女性とキャリア形成」をテーマとした活動を日常的に、継続的に行ってきたメンバーだけに、毎回活発な意見交換がされ、全3回の研究協議会を通じて事業のさらなるブラッシュアップにつながった。



●研究協議会議事より

今回の事業における課題や解決アイデア

地域の男女共同参画センターと効果的な連携ができればさらに良かった。例えば今回、セミナーの集客課題があったが、同日、同時刻に別の研修ルームで女性向けセミナーが実施されていたということだが、それならこの日、この時間は避けましょう、という判断が早い段階でできれば、セミナーが被るという事態は避けられ、もう少し動員できたかもしれない。セミナー内容が非常に良かっただけに残念。

個人的な意見になるが、男女共同参画センターの役割は、生きづらさを抱える人の声に耳を傾けるなど、これから働きたいと考える女性に関する情報が集まり、さまざまな支援を行う地域の社会資源。

縦割りではなく、目的やテーマでつながるべきで、そのためには他の地域とでも有益につながり、連携することは重要だと考えている。横につながれば、人も情報もいくらでも広がる。

発信した情報について、具体的に働くための、背中を押すような情報が弱い。

出口の部分、例えば企業の声などが無い。企業が求める女性たちとか、企業サイドの考え方、意見など。次の展開ではぜひ強化すべき。

→半年で、妊産婦から就職は普通に考えて無理があると思うし、妊産婦を想定して、せっかくストーリー立てた無理のない啓発で良い感じのアプローチができていたのに突然、仕事！仕事！となると戸惑うのでは。

→表現によると思う。例えば資格をとることに対して女性のニーズは高い。

子どもが学校に行けるようになった時、何かを始めるために、というアプローチで、すぐに仕事につながらなくても、ステップアップの機会とできるような方法について、今回は大学のリカレント教育を取り上げたが他にも方法はある。厚生労働省と都道府県労働局、ハローワークが協働で行っている職業訓練など。

条件を満たせば受講費が一部免除になる場合もあると聞いている。これは知らない人が多いではないかと思うので、今からでもサイトに情報を掲載してもいいのではないかな。

企業サイドの考え方に関連してだが、柔軟な働き方についての啓発が弱い。テレワークなど、基本の情報が抜けている。冊子からもサイトからも。子どもを預けたくとも預ける場所がない、という声は依然として耳にする。それならば、思い切ってシフトチェンジをする。預けなくても仕事ができる働き方といった具合に。今回、冬号で取り上げたファミサポ情報で病児保育もできるということは初めて知ったことなので、意外と柔軟な働き方についての基本情報も知らない人が多いのではないかな。子どもを預けるところがない、というのを働かない理由にしている方に対しては、柔軟な働き方を啓発するのはいいことだと思う。

事業への導入から出口追跡までの期間が半年というのは短すぎる。半年の間に妊娠した方がいたとして、事業開始から最低 2 年間は期間をみておかなければ、就職活動までのログは追跡できない。また、追跡については、出口となるセミナー等での参加者アンケートだけでは不十分ではないかな。

サイトはクローズしなければならないのか？

たった半年、これから固定ファンを増やしていくところでは？ 子どもを産んだばかりで、それどころじゃない！と思っていた人が戻ってくるかもしれない。事業は継続することによって、成長していくもの。

→活かせるリソースはアクセプトで吸収して発信は継続していきたい。もしくは関連付けられる事業があれば、そちらに紐づける等、対策を考える。

→ログ追跡と今後のサイトの在り方についてだが、アイデアとしては登録制で、ログインでサイトに入れる仕組みをつくるという方法がある。そうすれば、訪れた方の属性や、その後の活動の追跡ができる。ログを取られる側にはリスクはある分、何かインセンティブが必要。メルマガなど、あなたへの「お役立ち情報」をいち早く届けます！等で良いと思う。そのためにもサイトはクローズせず、継続的に運用できることが理想。事業が自立化して、地域の女性支援につながるありとあらゆる情報が集まってくるポータルのようにできれば。

他の自治体、企業などが自立して動かすという想定とした場合の課題、解決のための具体アイデア

今回の事業の要となったのは、広報・啓発媒体をつくることだった。各自治体の主幹となり、自立してやっていくことが可能か、について意見が分かれると思うが、個人的には可能と思う。

一定のスキルが必要ではあるが、グラフィックやエディトリアルデザインができたり、サイトを作ったり、など出来る方というのは地域にいくらでもいる。そういう方と接点を持つ地域の NPO や団体などとなつがっておけば、そうした人財紹介を受けることは可能だと思う。

冬号は NPO 情報が充実。自身、知らなかったところが 3 団体あったが、素晴らしい活動をされている。各地域には埋もれている素晴らしい方々がたくさんいるのだと実感した。自治体の市民活動ボランティアセンター運営事業は、指定管理制度ではあるが、多くの情報を持っているし、団体の広報をしたい、そのために有機的に他とつながりたいというニーズが高い。市民活動に関する活動体を組み込んでおくのも必須条件としたほうがいい。発展系として、働く女性を講師とした交流会をすると、多様な女性がつながることができるのでは。地域コミュニティ活性化という課題までも解決できるので非常にいい取組となるのでは。

SNS 活用について

専業主婦と一言で言っても、セミナーなどに来られる方は起業されていく。ポテンシャルが高い。またいつか働きたいと思っている人はオープンな SNS をやっている方が多い。フェイスブックのアカウントを持っている人もいる。

地元の子育て広場には本当の専業主婦がいて、子育てに追われている人。傾向としてはクローズなコミュニティもしくはあえてつながりを持たない。SNS をやっても仲間内の LINE くらい。

今回、ママインフルエンサーとして採用した方は 3 人、それぞれコミュニティを持っていて、SNS を使いこなしている。今回のように、大きい太いパイプを持った人を巻き込むことが大切。そこに下ろすことで、多くの方がつながってくる。また、取材や寄稿などの形でサイトに記事が掲載された方は積極的に発信してくれる。アメーバ的に口コミや知り合いの輪で広げていくのは女性特有かもしれない。

女性は共感したいという意識が強い。

最後に

体制をしっかりしておけば、もっとスムーズに、発展的に機能するはず。

それを条件とするのが必要不可欠だと思う。

地域でやるなら、地域の男女共同参画センター運営を行う主幹部局が主体で行うべきで、そこが中心となり、保健課、就労支援課とつながりながら横串で進めていくという体制が整うのが理想。また男女共同参画センター側も意志決定ができる方が入るべきと考える。

イベントの集客数が今回課題だったが、どこも集客には苦労している。しかし、センターの場合、通年で予定が決まっているものはあるので、男女共同参画センターが主体で、かつコーディネートができる人が回せたら、他のセミナーと被ることにはならないし、広報の相乗効果も期待できる。

男女共同参画センターは地域への周知課題もあるので、つながることで逆に施設のことをわかってもらうチャンスも増え、互いに WIN-WIN な取り組みとなるのではないかな。また日頃より、非常に多くの事業を行い、それに伴って多くの集客をしている。

自治体の主幹部局の指示系統が明確になれば、各窓口に卸していけるので、集客課題のクリアにつながる。

ミニ啓発冊子は母子手帳を渡すタイミングがベストではないかと思う。確実なお手渡しの方がよい。

そういうことも自治体の主幹部局が調整役として部署に卸していけばスムーズではないかと考える。

自治体と共にやらないと進まないものを、壁があったり縦割りだったりの課題があるというのが歯がゆい。これを使って、横串を通すことの重要性、民間と関わることの重要性に気づいてもらうきっかけともなれば。

今年度だけに限って言えば、まだファンづくり途上で、自立化にはそれなりの期間が必要と思う。

地域で行うならば、一番大切なのは「課題を解決するためにやってみたい」という意欲。

手が上がれば、女性のキャリア形成啓発から就労支援までの仕組み、ツールのひとつとして下していくための協力をしたい。

働きたい女性、女子学生と日頃から接点があるが、経営者にもアピールしてきた。

特に中小企業の経営者は女性の就労へのモチベーションやニーズには関心があると見受けられた。

今後、地域で自立して行うには、求人のタイミングの課題はあるが、女性の求人を強化したい地元企業の連携など、受け皿をしっかり確保するべき。

単年で出口までの成果は難しいと感じる。最低2～3年はかかると思う。

交流会の時に「あなたの夢は何？」と聞くと、「コンビニでお菓子を買えるようになりたい」と返ってきて驚いた。今を、乗り切るので精一杯。そんな方が多いと思うので、あまり先を急がないアプローチは大切と思う。

だからこそ、発信した情報は適切であったと思うし、90%の方に肯定的な意識変容が見られたのは成果と思う。

お金の詳しいことを知りたいというニーズを持った方はたくさんいたはず。効果的な広報・集客がすべて。波及させるには男女共同参画センターのキーパーソンが主体となれば解決できると思う。

出口の受け皿をしっかり整えるには最寄りのハローワークともつながらなければならないと思う。

<地域展開にあたっての提言>

●体制

人権あるいは男女共同参画主幹部局が主体となり、保健課等や就労支援課等、対象と定期的な接点を持つ部局と効果的に横連携をし、制作物等に記載できる情報提供、制作物の対象への配布を行うというのが理想的。また指定管理者制度で運用する地域の男女共同参画センター側も意志決定ができる方が入るべきと考える。さらに本モデルは、どの自治体も課題としている「地域の孤立防止、地域コミュニティ活性化」の解決につながる側面もあり、担い手確保の意味でも地域課題解決（女性孤立化防止や女性就労支援）に取り組むコミュニティ（地域、ボランティア、NPO等）と接点を持つ市民協働に関わる部署等との情報連携もあった方が良い。

●制作（情報開発・情報編集・情報表現）

対象へのアプローチ媒体（本事業では冊子、特設サイト）を制作するにあたっては、人、予算、情報を管理、コーディネートできる人の存在が不可欠。人でつながる地域資源の発掘を兼ねるという視点から情報を持つ、語れる人材から収集した生の声を地域に届けるスキームを確立するには、取材・ライティング、グラフィックデザイン、SNS活用も含めたICTスキルを持った方等、地域の中でチームを組めればベター。再就職支援までを一体的に行う仕組みとしては、出口部分にあたる女性の求人を強化したい地元企業へも接点を持ち、連携する等、受け皿をしっかり確保すべきである。

但し、今回対象に絞った妊産婦を中心とした子育て女性の中には、今を乗り切るので精一杯という方も多くと推察されるため、今回のように子育てのお困り解消といった興味・関心を喚起しやすいネタを入りに、少しずつ視野を広げてもらうための情報を入れていく等、先を急がない・急かさなことを念頭にアプローチを工夫することが大切。

●広報

自治体の各部局ごとの指定管理施設を通じた広報に加え、地域コミュニティ活性化や子育てママへの自己啓発・就労支援などに課題を持ち、活動するさまざまな団体の共感を得ることができればベター。また、地域の子ママコミュニティの存在も重要。

SNS等を通じた知り合いの輪に広げ、またその先のコミュニティへと広げていく口コミ広報により、波及効果はより高まると考える。